

ひかり

光町民憲章

- 一、老人を敬い、子供を導き、楽しい家庭をつくりましょう。
- 一、体力づくりに励み、長生きの町をつくりましょう。
- 一、自然を愛し、美しい郷土を築きましょう。
- 一、教養を高め、互いに規律を守りましょう。
- 一、公共福祉を尊重し、明るい町をつくりましょう。

発行所 光町役場 電話 (04798) 4-1211(代)



みなし子コロちゃん（アナグマ？）

作間内 向後 肇さん宅にて

“初心忘れるべからず”を胸に

助役 竹内節夫



再任された竹内助役

今年の入梅は空つゆかと思っておりましたら、しばらく振りの慈雨にめぐまれ農家の皆さんは異口同音に笑顔でよい雨でした。これで田畑の作物も助かりましたと喜びに満ちた言葉を交しております。

庁内人事異動

役場職員の定期人事異動が六月一日付けで発令されました。前任者同様よろしくおねがいします。

- 給食センター所長 鈴木 清 (農委員長)
- 農委員長 久保田 恭尊 (住民課補佐)
- 厚生課補佐兼衛生係長 厚生課補佐兼衛生係長

た昨今でございます。

歳月のたつのは早いものです。浅学非才の私が助役に選任されましてから四年を経過いたしました。その間、馬場町長の補佐役として町の発展のため微力ではございましたが、尽力いたしてまいりましたが、この度、任期満了に伴い再度助役に選任いただき、去る二十三日就任いたしました。

“初心忘れるべからず”の格言をしつかりと心に刻み、これから更に研鑽し努力し、町民皆様の付託に応える決意でございます。

- 山崎 敬行 (建設課補佐)
- 住民課補佐兼住民係長 越川 毅 (厚生課補佐)
- 建設課補佐兼管理係長 鈴木 武雄 (給食センター)
- 収入役室出納係長 内山 三津 (総務課庶務係長)
- 総務課庶務係長 大木 清 (総務課企画係長)
- 公民館指導係長

今や我が国の経済は変貌の兆を見せ始めてきました。東京で開催された七ヶ国首脳会談で強く打ち出されたエネルギー問題、原油の値上げによって各国とも動揺の色が隠せないようです。その現れが石油の急騰でありましょう。これら諸問の高騰、さらには米の過剰を抑制措置として執られております水田利用再編対策、いわゆる生産調整であります。農家にとり

冷たい目 それは社会を暗くする 社会を明るくする運動」はじまる

七月一日～三十一日

社会を明るくする運動とは、国民の一人ひとりが、それぞれの立場から、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

・地域活動の推進による青少年の非行防止
犯罪のない明るい社会をつくるためには、まず明るいよい家庭づくりが大切です。「自分の家庭からは犯罪者や非行少年をださない」という強い自覚のもとに、力を合せて社会環境を浄化し、犯罪や非

ましてもまことに厳しい状況下に置かれております。馬場町政も急変する社会情勢を的確に捉え、これに対処し光町の健全で住みよい豊かな町づくりのため諸政策を遂行してまいります。何卒町民皆様には、ますます健康で幸福な日々が過ごされますよう心から祈念申し上げ助役就任のご挨拶といたします。

行の要因を取り除くことが必要です。また、不幸にして犯罪や非行に陥った人びとに対しては暖い愛の手をさしのべて、その立ち直りを助けてあげましょう。◎青少年の非行は、他人ごとではありません。青少年の非行防止についてはいろいろの機関・団体が努力していますが、最近、中学生・高校生などの低年齢の少年や少女の非行が著しく増えており、その大部分は、ごく普通の家庭に育った人たちなのです。そして、これら少年たちによる集団万引、自動車や自転車の窃盗、シンナー等有機溶剤の濫用、不純性交遊などが多くなっています。青少年を取りまく人々が、地域の中で手を取りあつて、青少年を非行から守りましょう。

- ◎重点目標
- 小川 利昭 (住民課広報係長)
- 総務課企画係長 斉藤 俊一 (収入役室出納係長)
- 住民課広報係長 大木 一男 (住民課広報係)
- 食肉センター 深田 良子 (住民課年金係)
- 議会事務局 石瀬 良子 (産業課農産係)
- 建設課管理係

- 伊藤 久子 (議会議務局)
- 住民課広報係 (主任主事) 布施 勇 (公民館)
- 産業課商工係 (主任主事) 越川 岳 (産業課商工係)
- 産業課農産係 島田 典子 (建設課管理係)
- 厚生課衛生係 佐久間 勝規 (産業課農産係)
- 産業課農産係

- 林 新一 (厚生課福祉係)
- 厚生課国保係 実川 吉男 (厚生課衛生係)
- 住民課年金係 高山 清一 (食肉センター)
- 厚生課福祉係 宇井 正敏 (厚生課国保係)

夏休み……このチャンスを生かそう

いよいよ夏休みです。

身心ともに伸び盛りの子供たちにとって、ふだんの生活では味わえない体験をするには、夏休みはもってこいのチャンスです。

一方、季節がら、水の事故が多く発生する時期でもあり、心配のタネでもあります。夏休みを安全に、楽しく過ごすために、次のことがらを充分注意しましょう。

水泳時の注意

泳ぐ前

▼食後すぐ泳ぐのは体によくありません。少なくとも、二時間ぐらいたってから泳いでください。



▼女の子の場合、水着は、できるだけ競技用のものにしなす。ヒラヒラのついた水着は、思わぬところにひっかけたりするので危険です。



▼泳ぐ前にシャワーを頭からたっぷりあび、冷たい水に皮膚をならしてください。



▼準備運動には、少なくとも五分はかけて、手足の筋肉や関節を柔らかくしてから泳ぎましょう。



泳いでいるとき

▼小学生の場合、一回の泳ぐ時間は十五〜二十分が限度です。くちびるがまる青になるまで泳いでいる子供がいますが、要注意です。



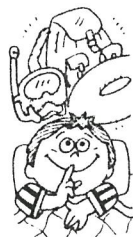
▼同じプールの中でも、場所によって深さの違う場合があります。プールの水深を調べ、胸あたりの深さで泳ぐようにしましょう。



▼水泳中に手足のけいれんを起こした場合は、子供を水から引き上げ、ゆっくり時間をかけてマッサージしてください。

海水浴に行くとき

▼海水浴の前日は、子供たちは興奮してなかなか眠らないものです。睡眠不足にならないよう気をつけてください。



▼日帰りで海水浴に出かける場合など、朝が早いと、朝食も食べずに出かけることがあります。体によくありません。早目に起きて朝食をキチンと食べてから出かけ

ましょう。

▼最初は、いきなり飛び込んだりしないで、脚、手、体と徐々に水に入りましょう。

▼楽しさのあまり、時間を忘れて泳ぎに夢中になってしまいがちですが、十五〜二十分をメドに海から上がり、ゆっくり休みながら海水浴を楽しみましょう。

「なわ跳び」で体力づくり

左右に開いて跳ぶ。

夏休みの体力づくりに「なわ跳び」はいかがですか。用具とスペースさえあれば、だれでもできる手軽な運動です。

▼あや跳び 手を前で交差させて跳ぶ。

なわ跳びは、足腰を丈夫にするなどランニングと同じような効果を持つ全身運動です。とくに、跳躍力、リズム感覚、敏しように性を養うのに適しています。

＜目標回数＞

これらをもとに、足の動きやなわの回し方などに変化をもたせたり、組み合わせを考えるなど、それぞれ工夫して自分の跳び方を編み出すのも楽しいものです。

＜用具＞

使う人の身長によって違います。両足で、ひもの中心を踏んで両端の握りの部分がワキの下に届くくらいが、長さとしてはよいでしょう。

＜跳び方＞

基本的な跳び方として、次のようなものがあります。

▽両足跳び 両足同時に跳ぶ

▽駆け足跳び 交互に足を踏みかえて跳ぶ

▽開脚跳び 両足を前後または



最初のうちは、連続跳びで二十回〜四十回ぐらいを目標にし、しだいに五十回、七十回と自分のコンディションを考えながら回数をふやしていきます。また、五分間で何回跳べるかといったスピードをつける方法もあります。

夏休み中の目標と練習スケジュールを立てて、がんばってみましょう。

夏休みの交通安全

子供の特性に応じた 具体的なルール指導を

うつつうしい梅雨が明けると、子供たちにとって、待ちに待った夏休みが始まります。学校を中心とした規則的な生活から解放されるために、せっかく身についた交通安全のルールも、とかく忘れがちになります。例年夏休み中に交通事故にあう子供がふえる傾向にあるのも、そのためです。

夏休みを楽しく安全に過ごし、元気に二学期を迎えることができるように、交通事故にはとくに気をつけましょう。

そのために、お母さん方は次の点に十分注意してください。

▼子供は、一つのこと熱中すると、周りのことが目に入りません。たとえば、ふだん大切にしているボールなどを落とすと、車の往来など眼中になく、拾いに行こうとします。道路を歩くときは、子供の手握ってしっかりと離さないように。

▼子供は大人のまねをします。子供の前ではちよつとした「ルール違反」も禁物です。

▼抽象的なことばで、ああしてはいけない、こうしてはいけない、というよりも、具体的なケースを

取り上げて指導するようにしましょう。

▼レジャー先など初めて通る道では、ふだんの生活で覚えた交通ルールが、うまく応用できるとは限りません。とくに注意してください。

▼子供の特性を知ることが大切です。気分が変わりやすく、うれしいときや悲しいときは、そのことで頭がいっぱいになり、他のことにまで注意が行き届かなくなることがあります。このようなときこそ、注意が必要です。



夏休みの生活

母と子の会話

自分の力にかなう 「目標」を立てよう

さあ、楽しい夏休み。子供たちは、規則正しい学校生活から離れて、

家庭中心の毎日を送ることになります。ふだんの生活では味わえない、夏休みならではの貴重な体験をすることができ、過ごし方次第では有意義な長期休暇となるでしょう。

半面、その日その日をただなんとなく過ごすというような無計画な姿勢では、あり余る時間をもて余し、精神的にもだらけ、二学期によい影響を与えない場合が多いようです。

家族の一員として、規則正しい節度ある生活習慣を身につけさせましょう。そのためにも、夏休み中の生活プランを立てることが大切です。

生活設計は、一方的に親が決めるのではなく、といって子供一人に考えさせるのでもなく、子供の自主性を尊重しながら話し合いで作

り上げるのがよいでしょう。子供が自主的な態度で規則正しい生活を送るには、親の協力が必要だからです。

さて、その生活プランに、夏休みでなければやれそうにない「目標」を一つか二つ加えてみるのもよいでしょう。

「百メートルは泳げるようになりたい」「朝顔の観察記録をまとめた」……など。子供の願いが実現するよう、お母さんは側面から援助してあげて下さい。

子供が、自分の力にかなう目標を見いだし、挑戦し、自主的にやりぬく過程で、強い意志なり物事

を全うする心なりが養われるのです。夏休みならではのチャンスといえましょう。

山の友 募集

東金山の会



山の好きなあなた！東金山の会へ入会しませんか。初心者でも歓迎いたします。

現在、町内居住者で当会へ入会している若者は五名います。

入会希望者は、左記へ連絡してください。

光町富下二六八一 布施隆吉

◎五局 ○九〇四

今年度の山行の予定

- 七月 朝日丘 (三泊四日)
- 九月 越後三山 (二泊三日)
- 十月 谷川、尾瀬 (二泊二日)
- 十一月 三ツ峠、冬山偵察
- 十二月 南八ヶ岳 (四泊五日)
- 二月 雲取山 (二泊二日)
- 三月 丹沢縦走 (二泊二日)

死亡事故多発警報発令中

夏の交通安全運動実施中

七月一日～八月二十日

V1 "光農協"

第18回町内軟式野球大会

天候に恵まれ無事終了

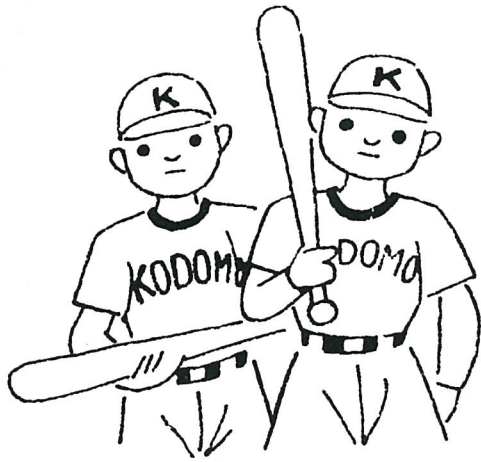
第十八回町内軟式野球大会は、五月六日から町営球場をメイン球場として、五十三チームの熱戦が繰り広げられて来ましたが、六月十七日の決勝戦を最後に終了しました。

※結果 (二回戦)

篠原 A	7-0	ワンカップ	木戸 A	13-3	高橋運送
谷中 A	15-2	小田部 B	光農協	9-2	谷中 A
宝米 A	13-6	白磯 A	サファイヤ	7-6	宝米 A
サファイヤ	4-1	全畜	東食	21-5	辻米 B
東食	12-7	役場 A	二又	4-3	商工会
ケロヨン A	7-4	木戸 B			

(三回戦)

商工会	1-0	東陽クラブ A
二又	7-5	佐々木タイカスト
東陽クラブ B	20-0	役場 O B
新井	13-2	篠原 B
辻 A	4-1	白磯 B



(四回戦)

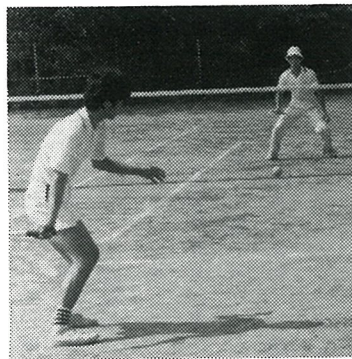
東陽クラブ B	10-3	新井
辻 A	5-4	木戸 A
光農協	2-0	サファイヤ
東食	6-2	二又
光農協	10-8	東陽クラブ B

(準決勝)

東陽クラブ B	8-3	辻 A
光農協	7-1	東食

(決勝戦)

第十二回総合体育大会開かれる



第十二回光町総合体育大会が、六月十日、十七日、二十四日光町体育館をメイン会場に四〇〇余名の選手が参加し、日頃の練習の成果を発揮し盛大な大会となりました。結果は、次のとおりです。

- ◎剣道の部 光町体育館 (一般団体)
- 優勝 日吉 A
 - 二位 東陽 B
- (中学団体)
- 優勝 日吉 A
 - 二位 東陽 A
 - 三位 南条 A
- (小学団体)
- 優勝 白浜小
 - 二位 南条小 A
- ◎庭球の部 光中庭球場 (一般)
- 優勝 小林・林組
 - 二位 伊藤・越川組
 - 三位 野村・花沢組
- (中学生)
- 男子 伊藤(英)・伊藤(虎)組
 - 女子 三宅・鈴木組
 - 二位 加瀬川・森組
- (小学個人)
- 優勝 小林 健治(白浜)
 - 二位 大木 修(南条)
 - 三位 平野 和美(日吉)
- ◎バスケットボール 光町体育館
- 三位 石井・中村組
 - 男子 一般チーム
 - 優勝 一高校 A チーム
 - 二位 光中学校
 - 二位 高校 A チーム
 - 女子 光中学校
 - 優勝 尾垂チーム
 - 二位 橋場チーム
 - 三位 宝米 A チーム
 - 四位 五ノ神チーム
 - 特別賞 谷中チーム
- ◎バレーボールの部 光町体育館
- 優勝 尾垂チーム
 - 二位 橋場チーム
 - 三位 宝米 A チーム
 - 四位 五ノ神チーム
 - 特別賞 谷中チーム



光町交通事故発生状況

<6月15日現在>

件数	33	件
死者	2	人
負傷者	47	人

光町の歴史散歩

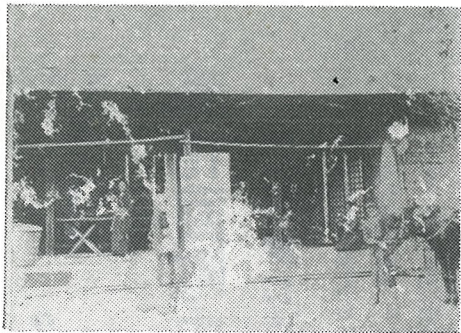
②

養蚕

かつて光町の農家では養蚕がさかに行われていました。

県の統計によると昭和五年の生産戸数が日吉村二三五戸、南条村一六八戸、東陽村二六四戸、白浜村二二八戸ありました。しかし、昭和三十年には光町全体で一五七戸、昭和五十二年には一八戸と減少しています。産繭高も昭和五年の春蚕が三九、三〇九貫、夏秋蚕が三一、四六八貫、昭和三十年は春蚕・夏秋蚕を合して四、八二〇貫、昭和五十二年は七七〇貫しかありません。

各部落では実行組合が作られ蚕業技術の向上・出荷等に協力し合



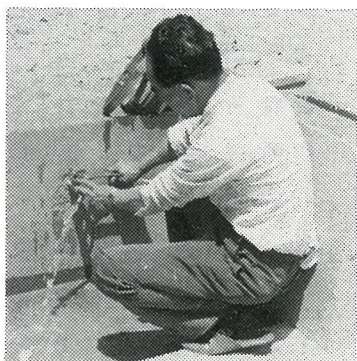
養蚕作業風景 (篠本・関口貞治氏蔵)

っていました。篠本の関口貞治さん宅にある文書の中に日吉第三区

養蚕実行組合に関係したものがあります。この組合は大日本蚕糸会や県知事から表彰されたこともあります。また尾垂の伊藤彦四郎さん宅にある文書の中に尾垂養蚕組

無料点検に感謝

八匳水道指定業者



八匳水道企業団指定業者は、水道週間(六月一日〜七日)に、水

を大切に使用していただくための運動の一環として、管内の事業所や小中学校を主として、水道施設の点検や修理を無料で行いました。これから水の需要が非常に多くなり、暖冬異変の影響で雪が少なく、水不足が心配されます。一滴の水でもムダにすることなく大切に使いましょう。

光町体育館・町営グラウンドの利用は、届出書を提出しましょう

くわしくは、公民館まで
☎三〇五—〇一 ☎四—一三五八

かし大正六年から十五年までは変動がはげしく、生産費の方が繭価よりも高い年がありました。また昭和初期には二円五十銭といった安値の時もありました。

当時の養蚕組合の文書や作業風景の写真等所有されている方は総務課企画係へ御連絡ください。
有線 二〇二—〇三

慶弔

六月十五日現在受付(敬称略)

◎お誕生

- 〈部落・赤ちゃん・父親・続柄〉
- 篠本 行方 俊幸 輝旺 長男
- 五ノ神 鈴木 美恵 睦夫 長女
- 尾垂 伊藤真樹子 都樹雄 長女
- 古屋 向後美恵子 勝 長女
- 宮内 神山 普一 一夫 長男
- 谷中 越川 雄一 金治 長男
- 原方 加瀬三恵子 利夫 二女
- 母子 越川 頼文 雅彦 長男
- 長塚 鈴木 淳介 延代 二男
- 作間内 石橋 慎五 清 長男
- 五ノ神 鈴木 恵子 實 長女
- 白磯 増田 理恵 正明 長女
- 作間内 椎名 博三 正博 三男
- 篠原 大木 健史 健治 二男
- 白磯 川島 聡 充夫 長男

◎ご結婚

- 宝米 土屋 弘美 利夫 二女
- 小田部 木川 敏宏 清 長男
- 傍示戸 齊藤 寛久 幸雄 二男
- 木戸 大石 裕子 行雄 二女
- 宝米 土屋 直恵 豊 二女
- 木戸 市田 智美 勘治郎 長女
- 木戸 畔蒜 宏美 毅 二女
- 尾垂 今関さつき 幸雄 長女
- 〈部落・氏名〉
- 母子 大木寛房 渡部陽子
- 白磯 上田 徹 橋本薫子
- 西高野 林 雅司 古橋綾子

◎おくやみ

- 〈部落・氏名〉
- 篠本 郡司 とよ 女 58歳
- 小川台 大津 トメ 女 75歳
- 二又 山本 道男 男 72歳
- 篠本 伊橋 惣一 男 78歳
- 尾垂 山本 ヨネ 女 86歳
- 白磯 細野 チヨ 女 94歳
- 新井 鈴木八重子 女 41歳
- 尾垂 伊藤 治郎 男 81歳
- 小田部 錦木 いね 女 75歳

町の状況

〈6月1日現在〉

人口	男	5,787人 (+4)
	女	5,904人 (-5)
	計	11,691人 (-1)
世帯		2,838 (+1)

() 内は前月比